

製品番号 :	マグナ 303TIG	ページ :	1/10
更新日 :	2016-03-11	最終改訂日 :	2019-11-06
製品番号 :		SDS-ID :	GB-EN/3.2

第 1 章 : 製品および会社情報

1.1. 製品情報

製品名 :	マグナ 303TIG
容器サイズ :	2kg 及び 4kg

1.2. 物質または混合物質に関する用途

用途 :	溶加棒 (TIG 棒)
------	-------------

1.3. 安全データシートの提供者の詳細

提供者 :	EU 輸入者
-------	--------

-

-

製造者 :	ITW PP & F Korea Limited. 13th Fl., Unit B, PAX Tower 609 Eonju-ro, Gangnam-gu Seoul, Korea 06108 Tel: +82-2-2088-3560 Fax: +82-2-513-3567 magna@magnagroup.com www.magnagroup.com
-------	---

日本国内 輸入元 :	株式会社エクシード テクニカルカスタマーセンター TEL: 046-286-5855 FAX: 046-286-5857 神奈川県愛甲郡愛川町中津 3503-8 番地
------------	---

1.4. 緊急時の電話番号

緊急時の連絡先 :	緊急時は救命センターの緊急番号で医師/救命士を呼んでください。
-----------	---------------------------------

第 2 章 : 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物物の分類 (GHS 分類)

CLP :	皮膚感作性: H317 発がん性 2: H351 特定標的臓器毒性 2: H373
-------	---

2.2. ラベル要素

固体金属および合金は、人間の健康に危険を及ぼすものでなければ危険有害性ラベルを必要としません。それらが置かれている形での人間の健康や環境に危険を及ぼす市場でラベルに表示されるはずの情報が表示されます。

安全データシート



製品番号 :	マグナ 303TIG	ページ :	2/10
更新日 :	2016-03-11	最終改訂日 :	2019-11-06
製品番号 :		SDS-ID :	GB-EN/3.2



警告

<u>含有:</u>	ニッケル
H351	発がん性のおそれがある
H317	アレルギー性皮膚反応を引き起こす可能性がある
H373a	吸入すると、長期又は反復ばく露により臓器に障害を与えるおそれがある
P201	使用する前に、特別な指示を得てください
P308 + P313	暴露またはその懸念がある場合：医師の診断／手当てを受ける
P260	煙を吸い込まないこと
P280	保護服、手袋を着用すること
P405	保管庫は鍵をかけてロックをすること
P501	内容物／容器を地域の規則に従って廃棄すること

2.3. その他の危険

<u>PBT/vPvB :</u>	本製品は PBT 物質、vPvB 物質を含んでいません。
<u>その他 :</u>	ニッケルに対する感作性のリスクがあります。 融点以上に加熱すると金属酸化物が放出され、これが吸入による金属ヒューム熱の原因になることがあります。症状は震え、発熱、倦怠感、筋肉痛です。

第3章：組成、成分情報 P1TR 法分類

3.2. 混合物

製品に含まれるもの： 金属

製品に含まれる全ての物質が REACH 登録物質または登録免除物質です。
閾値以上の分類物質または暴露限界のある物質のみを表示しています。

安全データシート

製品番号 :	マグナ 303TIG	ページ :	3/10
更新日 :	2016-03-11	最終改訂日 :	2019-11-06
製品番号 :		SDS-ID :	GB-EN/3.2

CLP :

% :	CAS-No. :	EC No. :	REACH Reg. No. :	化学名 :	危険有害性の分類	参照 :
30-60	7439-89-6	231-096-4	01-2119462838-24-	鉄	-	#
15-40	7440-21-3	231-130-8	01-2119485652-31-	クロム	-	#
7-13	7440-50-8	231-159-6	01-2119438727-29-	ニッケル	発がん性 2; H351 特定標的臓器毒性 1; H372 皮膚感作性 1; H317	S; 7
1-5	7439-95-4	231-104-6	01-2119449803-34-	マンガン	-	#

参照 : S: ラベルを必要としない場合があります
7: ニッケルを含む合金は、 $0.5\mu\text{Ni}/\text{cm}^2/\text{week}$ (EN 1811) の放出率を超えた場合、皮膚感作性に分類されます
#: この物質には暴露限界が設定されています。8章参照

参考文献 : すべての危険有害性報告書の全文は、第 16 章に記載されています

第 4 章 : 応急処置

4.1. 応急手当処置の説明

吸入 : 溶接ヒュームを吸入した場合は新鮮な空気のある場所へ速やかに移動して呼吸しやすい姿勢で休息させること。持続的に喉の痛みや咳の症状が続く場合は医師の診断を受けてください。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣服を脱がせ、皮膚を水で十分に洗浄すること。湿疹やその他の皮膚障害がある場合。医師の手当てを受け、この説明書を持参すること。

目に入った場合 : 目をこすらないこと。粉塵を上げる作業中に炎症が起きた場合、少なくとも 15 分間は多量の水で洗い流してください。

誤飲 : 製品の形状上、発生しない。

4.2. 重要な兆候と結果、急性と後発性

症状/影響 : 融点以上に加熱すると金属酸化物が発生し、これを吸入すると金属ヒューム熱を起こすことがある。症状は、震え、発熱、倦怠感、筋肉痛などである。

4.3. 即時の治療と処置の必要性

治療/処置 : 対症的処置をすること。

安全データシート

製品番号：	マグナ 303TIG	ページ：	4/10
更新日：	2016-03-11	最終改訂日：	2019-11-06
製品番号：		SDS-ID：	GB-EN/3.2

第 5 章：火災時の処置

5.1. 消化剤

消化剤： 周囲の材料に適切な消化媒体を使用してください。

5.2. 物質または混合から生じる特別な危険物

特定な危険： 火災の間に健康を害する危険なガスが発生する可能性がある。

5.3. 消防士へのアドバイス：

消防士用の保護具： 消火用呼吸器保護具の選択：職場に表示されている一般的な火災予防措置に従うこと。

第 6 章：漏出時の措置

6.1. 個人的な注意事項、保護具、緊急時の対処法

個人的な予防措置： 漏出を防ぐこと。溶接時：この安全データシートに記載されている安全な取り扱いの為の予防措置に従って下さい。

6.2. 環境予防措置

環境予防措置： 商品は自然に破棄するのではなく、収集し地域の条例に沿って処理をすべきである。

6.3. 材料の格納方法及び浄化方法

浄化方法： シャベルやほうきなどでこぼれたものを集める。

6.4. 他の章の参照

参照： 個人保護については第 8 章を参照してください。
廃棄処理の方法について第 13 章を参照して下さい。

第 7 章：取り扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いに関する注意

安全な取扱いのアドバイス： 長時間の接触や繰り返しの接触は避ける。
溶接時：ヒュームを吸入しないこと。化学的衛生習慣を遵守すること。

技術的な処置： 特別な予防措置なし。

技術的な注意事項： 溶接時：機械的な換気が必要な場合があります。

7.2. 安全な保管のための条件（非適合性を含む）

安全に保管するための 特に注意事項はありません。

技術的対策：

安全データシート

製品番号 : マグナ 303TIG ページ : 5/10
更新日 : 2016-03-11 最終改訂日 : 2019-11-06
製品番号 : SDS-ID : GB-EN/3.2

保管状態 : 乾燥した場所に密閉されたオリジナルの容器で保管する。

7.3. 特定用途

特定の用途 : 溶接材料

第 8 章 : 露出管理 / 個人保護

8.1. 制御パラメーター

職業上の露出時間限度 :

CAS-No. :	化学名	As :	暴露限界値	タイプ	追加情報	参照
7440-47-3	クロム	-	0.5 mg/m ³	TWA	-	EH40
-	酸化鉄、ヒューム	Fe	5 mg/m ³	TWA	-	EH40
		-	10 mg/m ³	STEL	15 分	
-	クロム(VI)化合物	Cr	0.05 mg/m ³	TWA	Carc;Sen	EH40
-	ニッケル及び水不溶性ニッケル 無機化合物(ニッケルテトラカ ルボニルを除く)	Ni	0.5 mg/m ³	TWA	Sk;Carc;Sen	EH40
-	マンガン及びその無機化合物、 吸入可能な画分	Mn	0.2 mg/m ³	TWA	-	EH40
-	マンガン及びその無機化合物、 呼吸可能な画分	Mn	0.05 mg/m ³	TWA	-	EH40

参照 : Sk: 皮膚から吸収される可能性がある
Sen: 職業性喘息を引き起こす可能性がある
Carc: 癌および/または遺伝性の遺伝的損傷を引き起こす可能性がある
EH40: EH40/2005

8.2. 露出制御

技術的な対策 : 溶接時 : 十分な換気を行うこと。職業暴露 粉塵やヒュームの
吸入の危険性を最小限にすること。

個人保護 : 個人用保護具は、GEN 規格に基づき、個人用保護具の供給元と協議の上、
選択する必要があります。

溶接時 : 目、皮膚、呼吸器系を保護するために特別な溶接装置を使用する。

衛生対策 : 取扱い後は手を洗うこと。汚染された衣服を交換すること。

環境暴露防止対策 : なし。

安全データシート

製品番号：	マグナ 303TIG	ページ：	6/10
更新日：	2016-03-11	最終改訂日：	2019-11-06
製品番号：		SDS-ID：	GB-EN/3.2

第 9 章：物理的及び化学的特性

9.1. 基本的、物理的な化学特性に関する情報

外観：	溶接棒
色：	シルバー
におい：	なし
臭気閾値：	なし
pH：	なし
融点 / 凝固点：	なし
引火点：	なし
引火性（固体、気体）：	なし
蒸発速度：	なし
爆発限界：	なし
蒸気圧：	なし
蒸気密度：	なし
相対密度：	なし
溶解性：	水に不溶
自己発火温度(°C)：	なし
分解温度(°C)：	なし
粘度：	なし
酸化性：	なし

9.2. その他の情報

その他のデータ	なし
---------	----

第 10 章：安定性及び反応性

10.1. 反応性

反応性：	反応なし
------	------

10.2. 化学安定性

安定性：	通常の温度条件下で安定的に使用できる。
------	---------------------

10.3. 危険有害な反応性

危険有害な反応：	反応なし
----------	------

10.4. 避けるべき条件

避けるべき条件：	特になし
----------	------

安全データシート

製品番号：	マグナ 303TIG	ページ：	7/10
更新日：	2016-03-11	最終改訂日：	2019-11-06
製品番号：		SDS-ID：	GB-EN/3.2

10.5. 混触禁止物質

混触禁止物質： 水、湿気、酸との接触は避けてください。

10.6. 危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物： 通常の状態であれば特になし。

第 11 章：有害性情報

11.1. 毒物影響に関する情報

急性毒性（経口）：	有効なデータに基づきその分類基準にはなし
急性毒性（皮膚）：	有効なデータに基づきその分類基準にはなし
急性毒性（吸入）：	有効なデータに基づきその分類基準にはなし
皮膚腐食性/刺激性：	有効なデータに基づきその分類基準にはなし
深刻な眼の損傷/刺激性：	有効なデータに基づきその分類基準にはなし
呼吸器または皮膚増感：	アレルギー性皮膚反応を引き起こす可能性がある
生殖細胞変異原性：	有効なデータに基づきその分類基準にはなし
発がん性：	発がんのおそれがある
生殖毒性：	有効なデータに基づきその分類基準にはなし
STOT - 単回暴露：	有効なデータに基づきその分類基準にはなし
STOT - 反復暴露：	長期又は反復ばく露により臓器に損傷を与えるおそれがある
誤嚥の危険：	有効なデータに基づきその分類基準にはなし
吸入：	融点以上に加熱すると金属酸化物が放出され、これが吸入による金属ヒューム熱の原因になることがあります。症状は震え、発熱、倦怠感、筋肉痛です。
皮膚に付着した場合：	敏感な人はアレルギー性皮膚障害を引き起こす可能性がある
目に入った場合：	不快感や炎症を引き起こす可能性がある
摂取：	製品の形態により、可能性は低いです。
特有の影響：	ニッケルに対する感作性のリスクがあります。また、溶接ヒュームに長時間または繰り返しさらされると、肺および呼吸器系に損傷を与える可能性があります。

安全データシート

製品番号 :	マグナ 303TIG	ページ :	8/10
更新日 :	2016-03-11	最終改訂日 :	2019-11-06
製品番号 :		SDS-ID :	GB-EN/3.2

第 12 章 : 生態学的情報

12.1. 毒性

生態毒性 : 環境に対する危険性があると考えられていません。

12.2. 残留性および分解性

分解性 : 本製品は、生分解性のない無機化合物のみから構成されています。

12.3. 生物内蓄積性

生物内蓄積性 : 蓄積に関するデータはありません。

12.4. 土壌中での移動性

移動性 : データはありません。

12.5. PBT および vPvB 評価結果

PBT / vPvB : 現在の EU の基準では PBT/vPvB に分類されない。

12.6. その他の有害事象

その他の有害事象 : 特になし

第 13 章 : 廃棄上の注意

13.1. 廃棄物処理方法

廃棄物および残滓は、地方自治体の要求に従って処分してください。廃棄物は有害廃棄物に分類されます。

残渣物からの廃棄物 : EWC-code: 12 01 13

第 14 章 : 輸送情報

本製品は IMDG コード、IATA-DGR、ADR/RID で危険物として規制されていない。

14.1. UN 番号

UN-No : -

14.2. UN 輸送名

輸送名 : -

14.3. 輸送の危険性クラス

クラス : -

14.4. 梱包グループ

PG : -

安全データシート

製品番号 :	マグナ 303TIG	ページ :	9/10
更新日 :	2016-03-11	最終改訂日 :	2019-11-06
製品番号 :		SDS-ID :	GB-EN/3.2

14.5. 環境危険

海洋汚染物質 : -

環境負荷物質 : -

14.6. ユーザーへの特別な注意事項

特別な注意事項 : 規制対象外です。

14.7. MARPOL 附属書 II および IBC コードに従った積荷輸送

積荷輸送 : 規制対象外です。

第 15 章 : 規制情報

15.1. 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規制/法律

特別規則 : 原則として、18 歳未満の方は本製品を使用することはできません。使用者は、正しい作業手順、製品の危険な特性、必要な安全指示について、慎重に指導されなければなりません。

国内規制 : 化学物質の登録、評価、認可および制限 (REACH) に関する 2006 年 12 月 18 日の欧州議会および理事会規則 (EC) No 1907/2006、欧州化学物質庁の設立、指令 1999/45/EC の改正、理事会規則 (EEC) No 793/93 および委員会規則 (EC) No 1488/94、理事会指令 76/769/EC および委員会指令 91/155/EC、93/67/EC、93/105/EC および 2000/21/EC を改正して廃止するものです。物質および混合物の分類、表示および包装に関する 2008 年 12 月 16 日付欧州議会および理事会規則 (EC) No1272/2008、指令 67/548/EEC および 1999/45/EC を改正および廃止、ならびに規則 (EC) No1907/2006 を改正。2002 年健康に有害な物質の管理規則 (S. I 2002 No. 2677) およびその改正。EH40/2005、2005 年職場暴露限界値、およびその改正。1999 年労働安全衛生管理規則 (SI 1999 No. 3242)、およびその改正。廃棄物リスト (イングランド) (改正) 規則 2005 年。(SI 2005 No. 895)。

15.2. 化学物質安全性評価

GSA 状況 : 化学的安全性の評価は行っていないため、情報なし。

第 16 章 : その他の情報

使用上の制限に関しては、15 章をご参照ください。

以下の項目には、改訂または新規の記述が含まれています :

1, 2, 3, 8, 9, 12, 13, 14, 15, 16

安全データシート

製品番号 :	マグナ 303TIG	ページ :	10/10
更新日 :	2016-03-11	最終改訂日 :	2019-11-06
製品番号 :		SDS-ID :	GB-EN/3.2

Magna Welding Alloys
13th Fl., Unit B, PAX Tower,
609, Eonju-Ro, Gangnam-Gu, Korea 06108
Tel : +82-2-2088-3560
Fax : +82-2-513-3567
Web site : www.magnagroup.com

Magna 商標は、ITW inc. の著作権であり、ITW PP & F Korea Limited のライセンスに基づき使用されています。

安全データシートで vPvB = 非常に難分解性で、非常に生態蓄積性が高い
使用される略語と頭字語 : PBT = Persistent, Bioaccumulative and Toxic.
(難分解性、生体蓄積性、毒性)

追加情報 : 規則 (EC) No. 1272/2008 に基づく分類 : 算出方法

H ステートメントの文言 :

H317	アレルギー性皮膚反応を引き起こす可能性がある
H351	発がん性の疑いがある
H372	長期または反復ばく露による臓器への障害
H373a	吸入すると、長期又は反復ばく露により臓器に障害を与えるおそれがある

このデータシートに記載されている情報は、当社の現在のデータを表しており、製品が所定の条件下で、パッケージ及び技術指導資料で指定された用途に従って使用される限り、信頼できるものです。本製品を他の製品と組み合わせて使用する場合、または他のプロセスと組み合わせて使用する場合は、使用者の責任で行ってください。

DHI-Environment and Toxicology, Ager Allé 5, DK-2970 Hersholm, Denmark で作成されました。

www.dhigroup.com

第 17 章 : 翻訳内容について

日本国内輸入元 株式会社エクシードにより ITW PP & F Korea Limited が発行する英文 SDS を日本語に本翻訳した正式な SDS です。